

# 平成 26 年度 第 3 回中野市豊田地域審議会会議録

開催日時および会場 平成 26 年 9 月 26 日（金）午後 2 時 00 分～3 時 40 分  
中野市豊田支所 2 階大会議室

## 出席委員および欠席委員氏名

出席委員（12 名） ・原田孝男 ・大内ふじ子 ・中島守成 ・臼井今朝徳  
・長澤京子 ・小林健一 ・高橋一美 ・清野貴子  
・北山和夫 ・神田一枝 ・宮島一典 ・小林日出夫  
欠席委員 ・北山和江 ・高野日出男 ・西野公代  
出席職員（6 名） ・豊田支所長 ・地域振興課長 ・地域振興課長補佐兼総務係長  
・地域振興課長補佐兼振興係長 ・地域振興課市民生活係長  
・事務局職員

## 議題および議事の顛末

### 1 開 会 【豊田支所長】

### 2 会長あいさつ

○会 長： それでは会議を進めさせていただきます。座って失礼いたします。いよいよ大詰めの会議となってきました、慎重審議をいただいてわずかな時間でございますけれどもご協力いただきたいと思います。それでは早速始めたいと思います。

○豊田支所長： ありがとうございます。

### 3 協議事項

○豊田支所長： それでは協議事項に移らせていただきたいと思います。地域審議会の設置に関する協議書第 7 条第 4 項の規定により、会議の議長は会長がこれに当たるとなっておりますので、原田会長様、議事進行よろしく願いいたします。

○議 長： それでは議長を務めさせていただきます。スムーズな議事進行にご協力をいただきたいと思います。また協議に入る前に委員の皆様をお願いいたします。いつもの通りでございますが議事録作成の関係もありますので、発言される場合はお名前をいただいてからの発言ということでお願いをしたいと思います。それでは協議事項（1）豊田地域審議会意見書（案）についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

## (1) 豊田地域審議会意見書(案)について

○地域振興課長：　　《資料1及び資料2を説明》

○議　　長：　　ありがとうございます。それではただいま説明がございましたとおり、ご意見をいただいた方については織り込んだつもりでございますけれども、文書的にも自分の発言とイコールであるかどうか、そこらへんも見直しながら、ご意見ご質問等ございましたらお願いしたいと思います。繰り返しますがお名前をおっしゃってからの発言ということでご協力をお願いをしたいと思います。

○地域振興課長：　　申し訳ございません。資料の中で若干ミスプリがございました。意見書案のところの5ページでございますけれども、4の人口減少・少子高齢化に対する取り組みの提言の(4)でございます、段落が一段くるっております、一段下の高齢者のところから(4)でございます。申し訳ございません。若干改めさせていただきますがよろしくお願いたします。

○議　　長：　　ありがとうございます。修正をお願いしたいと思います。それでは改めてご意見ご質問等ございましたらお願いしたいと思います。ございませんか。よろしいでしょうか。私の方から議長と言うか会長の立場として、この間打ち合わせの中でこの意見書(案)の6ページ目に、豊田支所のあり方ということで若干、私の方から発言をさせていただきました。豊田支所も建ててからまだ日が浅いわけですので、そういう意味ではまだまだ十分対応できる施設かなと思っております。その中で今言われるように、本庁の建て替えなどと合わせてそれぞれの組織の再編も当然されるかと思っております。そんな中で豊田支所のあり方もセットで考えていただかないと豊田支所の存続も危ぶまれるかなというようなこともございますし、先般も永田で避難準備というような放送があったかと思っております。そういう意味ではこちら側の中で無堤地区もある中、ようやく堤防が完成しようとしていますけれども、まだまだ無堤地区、上今井、替佐、繋がっていない部分もございます。また永田の方でも今、言ったように避難準備の放送が流れるくらい危険地域が旧中野市側から見れば盛りだくさんであります。そういう中で本庁が建て替えるとなれば地震に強い、また災害に強い、そういう施設に当然なろうかと思っておりますし、危機管理課等の中で災害に対する一番の拠点は当然、本庁であると考えます。けれども、豊田地域において一番身近に見える豊田支所、地域に密着した、地域が、災害が見える場所でもありますし、先ほども言いましたがまだまだ対応年数が十分残っているこの施設を有効に使おう、そんなことも踏まえながら、一項目あげさせていただきました。またそんな中で、支所の内容についてもこちらから何課を残せ、ここに何をおけという話にはなかなかならないわけで、そこまで文言

にする必要はございませんが、どこかの市でも何十年も前にすぐやる課とかというような部署を設置しましたが、最低でも本庁に行かなくても豊田支所では総合案内所的な部分を残しておいて、支所に来ればおおよその願い事は対応できる、また必要であればどこどこに行ってくださいと、そういうようなことが支所の中である程度、対応できればいいのかなど。また、今、申し上げた中でこの地域の拠点、小学校や保育園も含めてそういう意味ではなくてはならない施設であると、現状、考えておりますので、できればそんなことも豊田地域審議会を閉めるにあたっての言葉としては項目を加えた方がいいじゃないかということでプラスさせていただきました。この文章についても付け加える、ここの部分いらぬとか、そんなことも含めてご審議いただければなと思っております。どうでしょうか。

○委員： ●●です。1点、先日、新聞にも載りました本市の小中学校の適正規模と適正配置の件ですけれども、役員の方ご苦労様でした、これは中野市だけの委員さんで中野市のことを考えられた、子どもたちや児童生徒のことを考えられたことだと思っております。それによってですけれども、国とか県とかの動向を見ながらなっておりますけれども、せっかくここ2年間かけたと思っております、この委員会の意見を尊重しながら中野市独自の教育方針についていうんですか、適正規模を考えてもいいと思います。今後、是非、前回の教育委員会の方に答申された内容を基にしながら大事にしていきたいと思っております。以上です。

○議長： 意見ですね。

○委員： はい、意見です。意見というか要望です。

○議長： 他にございませんか。特にございませんか。●●さんどうですか。

○委員： ●●です。ちょっとアレルギーで咳が出る場合もありますもので出たらすみません。この意見書（案）ということで大変いろいろな意見を取り込んでいただきまして、なかなか素晴らしい文言としてはできているかなと思います。これを市長さんに意見書として提出をしまして、それからこの後でやるのかもしれないけど、スケジュール的にはどんな反映をされるか。その意見を聞けるのかちょっとまずお聞きしたいと思っております。

○議長： それはまた後で。

○豊田支所長： 私の方から回答させていただきます。前回もお話した通りスケジュールの中でまたお話しをさせていただければと思っておりますけれども、どういう形

で意見書を提出していくかという課題がございます。そんな中でいずれにしましてもこの地域審議会が来年の3月31日までという任期の中でございますので、今回、意見書をお出ししたとしましてもなかなか回答という形ではないと、これまで豊田地域の振興に関する意見書を3回出していますけれども、それらを検証した中でそれプラス現在の地域審議会として考えうる提言という形でさせていただきますので、出した後どうなるのかなと言われても難しい問題がありますが、当面はそれを提出してそういう認識をきちんともってもらおうということだと考えております。

○議長： よろしいですか。

○委員： 認識をもってもらうのはいいんだけど、10年間、豊田地域審議会ということでわざわざ設けなくてもいいところを豊田地域の振興ということで設置していただいたこともございますので、これがただ最後のこの審議会の意見書がどうなったんだかわからなければ何か尻切れトンボのような気がします。我々、地域審議会をずっとお邪魔をさせていただきましていつも提示をしまして、その答えが一つの会議で返ってくると、これは考えていませんとひとこと言われるともうそれで話は終わってしまうと、そうじゃなくてももう少し議論をするというか、例えば意見書の中で、市が中野有料道路を無料化にしてそうすると県も県道三水中野線を改良しなくてもいいじゃないかって、お金かからないじゃないかって、まあ他有料道路の料金とお金どこかで埋め合わせしなきゃいけないって言うならそれまでなんだけれども、そういういろんな考えができるんだけど、そういう話をされなくてそれは考えていませんと、もし意見として言われたらもうそれで終わっちゃいます。だからやっぱり意見を出したからにはどこかで何とか言ってもらわなきゃ、ここで意見を出している意味合いがちょっと薄れちゃうのかなと、そんなふうに思うんですけども、なんとかどこか、これ早めに出しまして予算とかいろんなこれから時期になってくると思うんですけども、例えば二月の最後のところにお話しただけなのかとか、そういったスケジュールにさせていただきたいかなと。その時はただ単純な説明じゃなくて、いろんなやり取りを市の部長さん市長さんとしていかなければ、ただ、出した終わった答えて終わったで地域審議会終了だったら本当に10年間何やっていたのかなという思いにもなってしまうので、このへん何とかよろしくお願いしたいと思います。

○豊田支所長： そのへんにつきましてはこの間、正副会長さんともお話しさせていただき、この後のスケジュールの中でお話ししようかなと思っておりましたけれども、意見書という形でお出しするうえで二つの方法があるかなと考えております。会長さんの方で市長さんへ出向いていただいて市長さんにお

渡ししていただくということも一つですし、これまで地域審議会で行ったように理事者他、部長に出席をしていただいて、この意見書の内容をきちんとお伝えする中でどんな考えをもっているのかということを知る場面をつくるという二つの方法があるのかなということで、これは会長さんにも前回打ち合わせの会議でお話してありますので、そのことを諮っていただいて、委員さんが良いと思われる方法でこっちの方は進めていきたいなと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○議 長： よろしいですか。他にございせんか。それでは次にうつりたいと思いますがよろしいでしょうか。はい、それでは次にうつらせていただきます。

## (2) その他

### ・今後のスケジュールについて

○議 長： それでは協議事項のその他でございせんけれども、今、話にありました、今後のスケジュールについて事務局より願います。今、お話しがりましたが改めて願います。

○事務局： それでは今後のスケジュールということでご説明させていただきます。着座で失礼させていただきます。本日、協議いただいた内容に基づきまして、意見書の方は修正等を加える部分があればまた加えさせていただきます、委員の皆さんに送付させていただきます。そして内容についてそれぞれご確認いただき、次回第4回会議の中で内容中身は固めていきたいと。申し訳ございません。只今第4回会議で固めたいと申し上げさせていただきましたこの意見書ですが、赤になっていた部分を完全な形にさせていただきます郵送させていただきます。それで内容についてご確認いただければということで考えております。そして意見書の提出につきましては11月を目途に市の方へ意見を提出させていただくという形がいいのかなと予定しております。そして提出形式についてでございせんが、先ほどもご説明等させていただいておりましたが、この豊田支所の大会議室で市長、部等の長の出席のもと提出をするという形、もしくは会長さん副会長さんが代表として本庁で市長へ手渡すという形、大きく二つがあるかと思っておりますがそのへんご協議いただければと考えております。説明については以上でございせんがよろしく願いいたします。

○議 長： 今、ご説明いただきました、先ほども説明いただき重複はしておりますけれども、今日のそれぞれ見ていただいた内容の中、今、事務局の方からお話でございせんが、赤字の部分を正式な文章に直してまたそれぞれ皆さんへ郵送しチェックをいただき、補足等ございましたら加筆いただいて検証いただく。その整理後、文章の確認と合わせて提出をしていくという

流れになるかと思います。その中で、今、●●委員さんからも言われましたが、ここにおいで委員の皆さん全員出席の中で市長さん以下、幹部の皆さんにお集まりいただいて、項目それぞれ読み上げながら、またそれぞれの委員さんから補足があれば補足をいただくことをしながら提出をするという方法にするか、あるいは市役所へ出向き市長さんへ手渡してよろしくお願ひしますという形をとるのか、その二つということで今、説明をさせていただいたところですけども、その提出方法、意見書の手渡す方法についてご審議をお願ひしたいかと思います。どんな形をとったらよろしいでしょうか。

○委員： いいですか、すみません。11～12月を目途にと言いましたよね。

○議長： はい。

○委員： それね、12月近くになると非常に忙しいっていうか、議会はいつになるんですか。12月になるんですか。

○豊田支所長： まだはっきりとした予定は決まっておりませんが12月の初旬から始まりますので12月は難しいかなと思います。その前ということでお願ひしたいなと思っております。

○議長： じゃあ、その幹部の皆さんと一緒にとなるとそれぞれの皆さんの日程調整これからやらなきゃなりませんので。

○委員： わざわざ市長さんと副市長さんと。

○議長： ですので、どういう方法か決まれば早急に日程調整しながら当然やらなきゃいけないわけで。

○委員： 日程的に無理だと思いますので、できたら私の意見考えとしては会長さんと副会長さんにお忙しい中だとは思いますが、向こうの本庁に向いて行ってもらって手渡したらどうかという私の考えです。

○議長： はい。ありがとうございました。

○委員： よろしくお願ひします。

○議長： 他にどうですか、そんな方法でよろしいですか。

- 委員： ●●です。今、●●さん言われたように、これを提出する時点で部長さん等お見えになっても何の話もできないと、それよかこの次にこれを読んでもらっての答弁の方がいいと思いますので、11月に限らずできるだけ早い時期に正副会長さんが市長さんに提出されるのが私はいいと思います。それでこれを見ていただいた後にその意見等を、お答え等を聞きたいと思います。
- 議長： 会議を開いてその答えをいただいてそれから提出ということですか。
- 委員： いえ。
- 副会長： 提出して。
- 委員： 提出してこれを見てもらってからこの答になるようなことを後で部長さんたち大勢集まってもらって聞くと、その会議をもう一回やっていただくと。
- 議長： まあ、事務局も含めてこれを提出して答えっていうのは、希望する答えというのはどういう答えなのか、正直、●●さんが言う答えと、なかなか答えというのは、もし、その答えが気に入らなければ気に入るような形に当然しなくちゃいけない訳だね、これからそれだけのものが時間的にとれるかどうか。それで今ご審議いただいた内容の中では皆さんは文章の中でおおよそ理解いただいたという中で、こちらの意見ですので市の方の答えをいただくというのは、今回、閉めるにあたっては答えというのはなかなかどういう答えを要望しているのか希望しているのか、いわゆるソーラーにしても何にしてもそうですけれども、ソーラーならやります、やるかやらないかという話になるか、検討しますって正直な話、そういう意味では結果的には大きな成果はないと思いますけれども。
- 委員： はい、いいですか。とどのつまり今までの地域審議会がいずれもただその答えていただく会議に来られても決定するような答えまでなかなかなかったんです。だから今までと同じことをするという事なんですけれども、要するに、この書かれたことについてどんな感想をもったか、それについての意気込みがあるかないか、それはできるかできないかということをお願いするんじゃないかと、このことはちょっと絶対やっていかないといけないなど、予算がつくかどうかはわからないんですけどもやっていきたいなど、そういったような意見をいただかなければ、こう出すこと自体がどうなんかなという具合になってしまうので。

- 議 長： それもまあ俺が言っちゃいけないんだけど、市の職員でもなんでも  
ないから言えないんだけど、実際に●●さんが言うような形でやって  
いきたいなという話をしてしまえばそれが記録に残っちゃう。
- 委 員： ●●です。今、●●さんが言われたようなことも大事かとは思いますが  
けれども、最終的な場面で、ここで一応、先ほども誤字等も含めて見直し  
いただいたものを我々審議委員に配って、それで OK になったら正副会長  
さんで市へ出向いて提出すればいいんじゃないかと、こんなふうに思っ  
ております。まあここで回答をいただくとなりますとまたそこから始ま  
っちゃうもので、ズルズルと終わらないようになっちゃうので、一応、私  
的にはこれとこれは重点的な項目で是非やってもらいたいと言うのは  
要望として言うけれど、それから回答、またそこで始まったのでは  
終わらないと思うので、今、赤字で修正したものを委員さんに配っ  
ていただいて、それで確認して OK をいただきましたら 11 月大変忙  
しい時期ですが正副会長さんで本庁へ行っていただいて、それで重  
要だから早急に達成してもらいたいという要望を付け加えて提出す  
ればいいんじゃないかと、私はそう思います。
- 議 長： ありがとうございます。他にどうでしょうか。それでは意見も今、お  
三方から出ましたけれども、それぞれ一理は当然あるので、折角出した  
ものだから何か聞きたいなって気持ちは本当に私もございました。そ  
ういう意味では当初、私が去年受けた時もそうでした。意見書という  
のがあって、何も無いのに俺、会長になって何をやればいんだと、  
正直そういう気持ちの中で進んできました。そういう中で今までと  
今までの会長さんが出したものとそんなに大きく内容的には変わ  
っていないかなと思っています。当然そういう中では豊田地域に  
いる皆さんが大体同じような認識の中で動いているのかなと、  
今そんなに変わっていないとすれば 10 年大きく変わっていない  
とすればそんなようなことを、また、先般の会議でも申し上げ  
ましたけれども、中野地域と豊田地域どのくらいどう違っている  
のかな、そういう意味ではそんなに大きく変わっていない、まあ  
内容的にも今日それぞれ皆さんからもらった文章を修正しながら  
この内容を提出する中でご理解をいただく、そんな中で先ほど  
●●委員さんからございましたが市長さんの方へ二人で要点、  
是非この部分はということで強調しながら、そんなような形  
の中で最後の閉めとしてはこんな形で閉めさせていただければ  
ありがたいかなと思っておりますがよろしいでしょうか。最後  
に先ほども付け加えましたが、この他の部分も当然大事な内容  
であります。豊田支所のあり方についても特に強調しながら  
提出をしてまいりたいかなと思っています。そんな中でご理  
解いただく中でご協力いただきたいと思っておりますが、  
そんな内容の中でスケジュール的には進んでいきたいと思っ  
ており



ますがよろしいでしょうか。

○各 委 員： お願いします。

○議 長： はい。ありがとうございました。それではそういう形で進めさせていただきますがよろしくお願ひしたいと思ひます。また合わせて改めて皆さんに文書の配付をいたしますので、付け加える分には付け加えていただく中で、改めて確認をさせていただく中で提出をしていきたいと思ひますがよろしくお願ひしたいと思ひます。

・ 中野市総合計画審議会への委員の推薦について

○原田会長： それでは次にうつります。協議事項（２）その他の二点目でございますが、中野市総合計画審議会への委員の推薦について事務局の方からご説明をお願いします。

○事 務 局： 《任期、内容等説明》

○議 長： はい。ありがとうございました。今言われた通りご報告でございますので反対されても困りますので二人で委員として頑張りたいと思ひますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

○議 長： それでは本日予定していた議題は終了いたしました。委員の皆様から他に閉めるにあたってご意見ございましたらお願ひしたいと思ひます。

○委 員： よろしいでしょうか。

○議 長： はい。

○委 員： （２）今後のスケジュールの中で、今これ提出してそれが最後の地域審議会の仕事になってしまうのかどうかまずお聞きしたいと思ひます。

○豊田支所長： 提出を持って最後ということになります。

○委 員： すみませんよろしいですか。原田会長さんになられてあと２年どうやって閉めたらいいかという話の中で、意見書にはそれも似たような意見は書かれているんですけども、とにかくこの支所のあり方、ここらへんを皆でよく検討したり合併がどうだったかということをよく検討して、地域審議会自体がなんだかよくわからないまま終わってしまうんじゃないかなと私は危惧しています。どんなものでしょうか。

○議 長： はい、私もそう思います。この10年間、私になる前の皆さんについても、今、●●さんが言うような合併にあたってのいろいろな部分の協議がありましたけれども、いわゆる豊田支所のあり方とかそういうことは議論とかほとんどしてきていないんですね、正直。それでここ何回かの会議でも私の方からは何度か申し上げましたけれども、この豊田支所のあり方ということについては、正直、この会議の中ではあまり議題は大きくなってなかったと思います。支所のあり方について先ほど私も申し上げましたが支所をどうするか、今ここにも書いてありますけれども1課3係制ですか、今残っているのは。市役所本庁を建てるにあたって、総合的な一つの大きなものを作れば、当然、よそに出ている部署は中へ引っ張り込んで一緒にしようというのが経費削減の中では当たり前の話です。それで市役所の中でも検討とか、いろいろそこに私も出ていますけれども、そこだけを見てみるとそこだけしかない、豊田支所をどう使うのかという話は全然議論されていないので、豊田支所のあり方についても議論してくださいということで北信ローカルか何かにそんなことも載っていましたが、一言二言申し上げてきたつもりです。そんな中で先ほども言いましたけれども、豊田支所を残すにあたってどういう形で残すんだということをこちらではあれを残せこれを残せという議論には当然ならない。市の方でどんな考えをもっているかということを知ることができても、あの課を残せとかをこっちの方が勝手に、教育委員会をもっていっちゃうという話には当然ならないので、どういう形でこの支所を残すのか、そういう中ではあの課この課というよりも話をする中では、防災センター的な役割として、まだ年数もあるので、そんなことで第2拠点として残してくださいと言うくらいがこちらの希望とすれば適当な言葉かなと、そういうことで防災というかそちらの部分の方へ地域の拠点としてのあり方という部分で付け加えさせていただきました。また、私も市の庁舎検討委員会などいろんな所へ顔を出していますので言うつもりです。そうしないと市役所ばかりの会議、そこだけを見てみると豊田支所が全然目に入らなくなってしまいますのでセットで考えていかないと、ここは絶対守らないといけないと思う、正直ね。セットで考えていかないと向こうからすると「ここは何に使用しますか」ということはないと思いますので、できればこちらからこういう形で、だからそういう意味では教育委員会は残せだとか地域振興課を残せという話ではなくて、目に見える地域防災施設としてまだまだ立派な建物です。そういうものを図っていくにはここを形骸化したのではもったいないなという思いの中で、今、●●さんが言われるように豊田審議会の中では本当はそれが一番じゃないかなという話はこの間も打ち合わせの中で副会長さんと事務局と話してきましたので、そんなことは声を大きくして提出の時には言うつもりです。それ以上のことは言えないです。

○委員： よろしいですか。今、会長さんが言われたことは会長さんの思いが強く地域審議会の意見かなと、ちょっとわからないような話なんで、という話をみんなでするという機会が俺あるのかなと思ったら、最後にこういう意見書が出てどうだったのかな、だからその前とにかく終わりにつけてはこの支所、これはみんなをよく考えてどんなふうにしてもらいたいんだという意見をやっぱり出しておかないと何のための地域審議会だかわからなくなっちゃうし、確かに最終的には会長さんの言われるようになるのかもしれないけれどもそれ以外の話も出てくる可能性もありますし、まあワンストップサービス、新しい庁舎を建てることについてそのような話が出てきて、とにかく一つに集約するんだ集約するんだって言いながら、やっぱり災害等あったときにはサブというのはこれ絶対必要になるのでそこらへんの意味合いもありますし、そこらへんの議論というのが全然されないでただこの意見書で終わるのは私はちょっといかがかなと、地域審議会が意見書で終わっちゃうのはいかがかなと、そりゃあ皆さんいろんな役職をもっていながら来られていたいへんなのはわかっているんですけども、せっかく 10 年間設けていただいた地域審議会がこんなふうに何か議論無くて、ただ一人の意見、二人の意見が出ながら一つの全体の意見として出されながら議論のないまま終わっちゃうのがちょっと残念かな、そんなふうに私考えるんですけども俺が間違っていたならすみません。申し訳ないです。

○議長： まあ、今、●●さんの言うように、そういう意味では皆さん側から見ればそういう議論の声が出なかったというのも、正直、あればまだそういう意味では、私のリーダーシップの中でそういう豊田支所のあり方、それだけで会議を開いてくればよかったのかもしれない。そういう意味ではそういう議論もあればその中で時間を割いて話もできたかなと思っておりますけれども、またこれ俺の意見になっちゃうかもしれないけれども、現実そこで議論して果たしてどんな結果が得られるのかそれはわかりませんけれども、今、●●さんがどんなことを思っているかわかりませんが、今、●●さんからも出ました防災の拠点、私もそれが正に豊田支所のあり方とすれば、現実的には、今、私たちがここで希望するところはそこだと思っているんですね。後は市の組織体制の中でここに何課がくるのか、いわゆる総合案内所的なものがここへくるのか、それはその後の話で、ここをまず残すという中では、ここらへんを強調しておくべきところかなと思ってますし、議論をしたところでって言ったらまた怒られちゃうけれども、結局はそこに行くだろうなと私は思っています。だからこそ、こういう形で文章を付け加えさせていただきました。あまり深く突っ込んではいけませんけれども、表面上はそういうことでご理解をいただければと思っております。また、もし、それぞれこれからこの文章確

認をさせていただくわけですが、追加等それぞれご意見ございましたら、また文書でそれぞれの思いを出していただければありがたいと、この支所のあり方についてそれぞれの思いを文章にさせていただいて、また、正副、事務局と相談しながら整理して、皆さんの方にお返しをして確認をいただいでやっていければと考えます。そんなことで文章確認の通知をそれぞれ皆さんに差し上げますので、自分の思い、支所のあり方について文書にさせていただいて提出していただければいいかなと思っております。そんなことで進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

○委員： ちょっといいですか。今の文書でまあ支所の方へ出すわけなんですけれども、その文書の集約とかっていうのはどういうふうになるんですか。もう地域審議会は開かれないんですよね、これで終わりなんですよね、もう意見書も出すもんね。

○議長： そうですね。

○委員： そうするとこの今の地域審議会の皆さんのいろいろな意見を確認して出したりするんですけれども、それっていうものはどこでどういうふうに生きるっていうか何かになるんですか。

○議長： 生きるというと。

○委員： 意見というか。

○議長： 生きるのは文書としていきる。

○委員： それだけなんですか。

○議長： 文書として整理して提案してということです。

○委員： 要するに今の話、私の提案っていうか、ああいうふうになるわけなんですな。

○議長： この意見書の中に入れていくと。

○委員： そういうことね。

○議長： そういうことです。整理して、また皆さん方に確認いただいで文章で書いていただいで。

- 委員： まあ文書を出してこれで終わりと、これで豊田地域審議会が終わりますけれども、市の方へ意見書として提案するとその回答、先ほどから回答とかいろいろありますけれども、じゃあそれをどうするかというような●●さん言われていると思うんですけども、これは豊田地域区長会ですとかそういうふうに任せるとかそういう何かないんですか。そういう考えとか。
- 議長： 特にないけれども。
- 委員： 先日、豊田地域区長会に任せるといような意見、誰かちらっと出たんですけども、そういう方向へもっていけばいいんですけども。
- 議長： 別の団体よりもその方がいいかなという思い、もしそういう情報があった時には今後ここがなくなってしまうばそういう情報の中では豊田地域区長会が窓口になる、正直なこと言うとね、そういう形、今までもそういう意味では正直、豊田地域区長会でもいいかなと思いつつ動いてきた。いわゆる豊田地域区長会で議論してもいいのかなという問題がほとんどです。そういう意味では豊田地域審議会では安源寺の道を、これは豊田区長会でも当然同じことを言っているわけです。支所のあり方についても私も支所の方に言っていますし、そういう意味では同じことがそれぞれのところでいっぱい出てきます。内容がそんなに変わっていない内容で動いていますので、そんなこともご理解いただきつつ、先ほどから何べんも申し上げますけれども、ご審議をいただいて修正をいただき提案していく流れの中でご協力をいただきたいと思います。その中で、今、●●さんから出ました豊田支所という部分について皆さんに思いがございましたら文書で提出をいただく、その中で整理をしながら市に対して、もちろん皆さんに確認していただいてから、整理をした中でお願いをしたいかなと思っております。特に会議としては今のところ予定はございませんがそんなことでよろしいですか。大変申し訳ないんですけどもそういうことでご理解をいただきたいと思います。提出については先ほど決めていただきましたのでそういう提出の仕方したいと思います。
- 委員： 会長さん、もう一つ。もう一回地域審議会を、要するに2年任期で5回あったわけですね、そういうことですね。最後のこの会は第1回目の会議、第3回目の会議、通常今までは市長さん部長さんすべての方見えられていた。第5回目は最初の市長さんも部長さんも見えられない。全員集まる会が今日で終わりだと、ここらへんが地域審議会自体、悪く言えば軽く見られて終わっちゃうのかなと、非常に私残念ですので、それは部長さんも市長さんもこれは忙しい方だわかってはいますけれども、通常行われていたたい5月と2月に市長さん部長さん来られていて意見を聞いてい

たわけです。11月にもし提出するのであればこれを見ていただけるはず  
です。それで予算に確たる根拠があるわけじゃないんだけど、そこで  
最後に閉めでやっぱりやっってもらってことじゃないかなと私は思いま  
す。今年一年間、全然、市長さん部長さん見えられないんですよ。市長  
さんや部長さんが来られたから良いとか悪いとかいう話ではないんです  
けれどもいかがなものでしょう。通常2月にやっていたものをやらないっ  
ていうことになっているんですよ、いかがでしょう。そうすればこのさ  
つき●●さんもちよっと話されて確たるお金の根拠とかがあるわけじゃ  
ないんだけど、この意見について市長さん部長さんすべての方の意見  
を聞ける可能性があるじゃないですか。どんなものでしょう。

○議 長： はい。まあ、やらなかったというのは大変申し訳なかったんですけれど  
も、いわゆる正直なこと言うと、皆さんの本当のご意見を部課長さんいな  
い中で正直なところ聞きたかったんですということなんです。まずね、そ  
れで最初の話の時には去年もそうでした、あの後、意見書の回答がなかつ  
たどうのこうのという話の中で俺も不自然だな、おかしいなと思いつつ、  
今年の春、事務局と相談しながら特にご足労いただかなくても正直なところ  
ね、地域審議会の会議は進行できるのでということでそんな話をしながら、  
当初は後ろにいらなくてもいいでしょうというような話になって、今年  
の場合についてはスタートした。今、●●さんが言うように年に2回あつ  
たんですかね、それもパスしたということですね、俺はそのへんは理解し  
てないんですが、そういう意味では皆さんの意見はそれぞれいただきました  
ので、もし、今、●●さんから意見が出ましたので変更するというのは  
なかなか難しいことかもしれないけれども、二人で行くと決めさせてい  
ただきましたけれども、その時に部課長さんと呼ぶという形がとれれば、  
それでも都合がつかない都合がつく部課長さん市長さんの日程調整の中  
でやっていけるものなら、次回にあたってはそれぞれの思いのたけをそう  
いう意味では●●さんじゃないですけど、話す場がほしいという中ではせ  
っかく二人で提出すると決めさせていただきましたけれども、事務局の方  
でできればそういう形を、今、言われる中では皆さんの気持ちを整理する  
意味でもあった方がいいのかなと、今、改めて思っていますけれども。

○委 員： ちょっと俺の言い方が違っていけば申し訳ないです。提出に関してはこ  
れから精査していただきまして、また皆さんの意見があったら加えていた  
だきまして正副会長さんに提出をいただきます。それでそれを市長さん部  
課長さんに見ていただいて時間をおいて検討、もしできるものは検討いた  
だいて、それで期間を設けた通常であれば2月、まあ3月は議会始まります  
ので、そんな時期に集まっていたら、お忙しいところすみませんけれ  
ども集まっていたら、変更できるかどうかじゃなくて意見を聞きた

い、こちらの思いをこの文章だけじゃなくて伝えたいっていうのが 10 年間やった我々の使命じゃないかなと、こんなふうに思います。

○議長： はい、わかりました。それでは今、●●さんの意見、本当に大事な事だと、まあ 10 年経って閉めるわけですけれども、この後はもうないわけで貴重な意見だと理解いたしました。そういう中では、今、言われるように事前に提出できていればいいんですけれども、市長に渡すときには初めて市の方へこの文書が流れるとすれば、言われるように市長に見ていただく、それと同時にこの文書は部課長さんにも流していただいて読んでいただく、その後、都合つける時にこの審議会の皆さんと都合のつく市のお偉いさんに集まっていたいて、会議という形でなくても座談会みたいな形でも何でもいいですが、とりあえずは最後の閉めとして皆さんと一緒にこの 10 年間の話し合いといいますか思いを、今、●●さんが言われるようにそこでまた喧々諤々になっても困りますけれども、これどうなってるのかな、これやってほしいなくらいな話の中でもお茶のみの中でもそういう会議ができればいいのかなと、そういう意味では提出するということはその時点で審議会は終了しているわけですが、その提出した文章を部課長さんたちに読んでいただいて、その日程調整の中でまた皆さんにも集まっていたいて、この 10 年間の総括を改めてそれぞれの中で気持ちの整理をしていただく、そういう場を作っていければと、今、私の中で思いました。●●さんにすれば当初からおいでになられたのかな、そういう意味では 10 年やってこられた方、また本当に近々の中で入られた方おいでになられますけれども、長くやっておられる方については当然それだけの思いがあると思いますので、そんなことで事務局の方でそんな調整ができましたらご協力いただければありがたいと思っておりますがどんなものでしょうか。

○豊田支所長： それでは今、●●委員さんの方からも出されて、会長さんもお答えされましたけれども、まあ提出してそれで終わるんじゃないということでこちらの方でまた段取りをさせていただきますけれども、おそらくきっと 1 月とか 2 月くらいになっちゃうのかなという気はします。そして地域審議会という形になるのか懇談会という形になるのかは別問題としましても、いずれにしても理事者、部長によっていただいた中で委員さんのこの意見書に込めた思いを伝えていただく場面を作りたいと思います。そんなことで進めさせていただければいいのかなと思います。ただ、前回 3 回豊田地域の振興に関する意見書という形でお出しをする中で回答という形で文書でもらったわけですが、それは出さずにその言葉の中で懇談をしていきたいなと思います。そんな形でもよろしいですか、そのところだけちょっとお聞きしたいなと思いますけれども。

○議 長： どうですかね。

○委 員： そうですね、文書になるようなものはしてもらってことですかね。要するに意見書が出た時点で市長さん、各部課長さんが見てくれるわけだね。さっきから言う予算の後ろ盾はあるかないかはわからないですけども、こういう問題はこれから市としては真摯に受け止めてやっていかなければいけないとか、そういう意見は聞けますものね。それを言葉に、文章にはならないですか、どんなものでしょう。やっぱり足跡なもので残していただいた方がいいと思うし、それが無理であればこれまあいதாகたないということだと思えます。

○豊田支所長： 無理のような気がしますがけれども、いずれにしましても懇談というかどうかという形になるのかははっきりしませんけれども、いろんな意見を出して、市の方から回答していただくという形の中ではきちんと議事録を残し、当然公開していきますので、そういう意味では文書で回答をいただく云々にこだわる必要はそんなにないのかなと思っております。

○委 員： 議事録に残れば。

○議 長： はい、いずれにしてもそんな方向で進めさせていただきます。それでこの間も打ち合わせの中でも話をしましたが、とりあえず閉めるにあたって、まあ、今回おられる委員の皆様と、今、●●さんが言われるようにこの10年間で何人かの会長さんがおいでになる。そういう中では一緒に懇談する場面も必要かなということを手ラツと相談はしてございました。そんなことでどんな内容になるかわかりませんが、今までの会長さんにもお世話になったということも含めて、今の委員さんと一緒にどこかでそういう場面が作ればいいかなと、今の部長さん方と会うのもそうですけれども、そういう場面もあつたらいいなという話をしておりますので、またそういうご案内がいった時にはご協力いただきたいというふうに、まあできないかもしれないですけども、今のところではそういうふうに考えていますので、またご協力をいただきたいと思えます。それでは今回の会議を閉じたいと思えますがよろしいでしょうか。

○各 委 員： はい。

○議 長： はい、ありがとうございます。それではまたそれぞれご協力いただきたいと思えますが、先ほども言いましたが皆さんが豊田支所のあり方についてどんなお考えなのかということを手ョットお聞きしたいので、プラスアルファですがご協力をお願いしたいと思います。決まったことについて



は進めていきたいと思っておりますのでよろしくまたご協力お願いいたします。それでは以上で終わります。大変お忙しい中長時間の協議ありがとうございました。

○各 委 員： ありがとうございました。

**4 その他** 〔な し〕

**5 閉 会** 【豊田支所長】